

①ICT

S1	S2	A1	A2	観点
「iPad」や「Zoom」，「ロイロノート・スクール」を発展的に活用することができる。	「iPad」や「Zoom」，様々なアプリケーションの機能を理解し，扱うことができる。	「iPad」や「Zoom」の機能を理解し，扱うことができる。	「Zoom」の機能を理解し，扱うことができる。	I C T 操作力
(S2における右記の技能に加えて) ☐ Zoomにおいて，ブレイクアウトシステムを活用することができる。 ☐ Zoomにおいて，ピンスポット機能を活用することができる。 ☐ GoogleチャットやZoomチャットを活用して連絡がとれる。 ☐ ロイロノート・スクールを以下のよう に活用することができる。 ・画像や動画，音声データを生かした教材の作成 ・児童生徒の解答や考えの比較 ・資料箱の有効活用 ・シンキングツールの活用 ☐ iPadにおいて，用途に合わせてアプリケーションをダウンロードし，活用することができる。	(A1における右記の技能に加えて) ☐ Google系アプリを以下のものから2つ以上使うことができる。 （ドライブ，スプレッドシート，ドキュメント，スライド，Forms，Jamboard） ☐ ロイロノート・スクールを以下のよう に活用することができる。 ・授業教材や課題の作成 ・資料やワークシートの配布・回収 ・解答の添削と返却 ☐ Microsoft OfficeアプリやEvernote，GoogleドライブやDropboxといったアプリ（または端末）間で，データのインポート・エクスポートを行うことができる。	(A2における右記の技能に加えて) ☐ iPadにおいて ☐ カメラ機能やスクリーンショット，画面収録を使う。 ☐ メモ機能を使用することができる。 ☐ アプリをインストールできる。 ☐ AirDropでデータの受け渡しができる。 ☐ PDFなどを取り込んで使用することができる。 ☐ ZoomでiPadの画面をミラーリングすることができる。 ☐ Apple Pencilを使って書き込みをすることができる。	☐ チャットでメッセージを送ることができる。 ☐ ホワイトボード機能を使う。 ☐ 参加者に対しての，ミュートや共有への書き込み，チャットなどのアクセスコントロールができる。 ☐ 画面共有を行い，動画や写真，教材などを参加者に見せることができる。 ☐ ホストとしてミーティングを開いて入室させたり，他のミーティングに入室したりすることができる。 ☐ 画面のオン・オフができる。 ☐ 「反応」ボタンで反応ができる。 ☐ 名前を変えることができる。 ☐ 背景を変えることができる。	具体的な技能

ICTを活用することで，本校外部との関わりを日常的にし，児童生徒が考えを深めたり，表現をしたりする機会を充実させることができる。	本校外部との関わりを通して，児童生徒が多様な意見に触れることのできるようにするために，I C T を活用することができる。	児童生徒が，学習に関する多様な情報に触れることができるようにするために，I C T を活用することができる。	職務や授業において，日常的にI C T を活用することができる。	I C T 活用力
(S2における右記の技能に加えて) ☐ 授業時間以外でもICTを通して外部と交流する機会を設けることができる。 ☐ ロイロノート・スクールやその他のアプリケーションで学習作品や発表データを作成させ，外部と交流することができるようにする。 ☐ 児童生徒が積極的にICTを活用して，情報を発信することができる場を設けることができる。 ☐ 普段から児童生徒の学習における必要性に応じて，遠隔同学習を行うことができる。 ☐ iPadを年間継続して授業や職務で活用することができる。	(A1における右記の技能に加えて) ☐ Zoomなどで，他校や外部機関・人材と顔を合わせて交流するまたは学習する場をもつことができる。 ☐ ロイロノート・スクールやGoogleドキュメント・スプレッドシートなどを活用して，互いの様々な意見を共有することができるようにする。 ☐ 児童生徒が目的に応じてアプリケーションを選択できる環境を設定することができる。 ☐ 共有した画面やアプリケーションに，児童生徒が自分の考えを書き込めるようにすることができる。	(A2における右記の技能に加えて) ☐ 写真や動画など学習に関する資料をZoomにおいて共有することができる。（チャットへのURL・ファイルの添付，画面共有，ミラーリング等） ☐ バーチャル体験をさせることができる。（Zoomカメラ機能を活用し実物を見せる・インタビューをする等） ☐ 写真や動画など学習に関する資料データを，iPad等で児童生徒に配信することができる。 ☐ ロイロノート・スクールなどに学習に関する資料を保存し，児童生徒に共有させることができる。	☐ 職員間の共通理解を図るために，クラウドやAirDropによって学校資料を閲覧，編集することができる。 ☐ 大型モニターにPCやiPad等の画面を映すなど，授業でICT機器を活用することができる。 ☐ 授業においてタブレットやPCを児童生徒に使用させることができる。 ☐ Microsoft Officeを遠隔授業等で活用できる。	具体的な技能

②主体的・対話的で深い学びの実現

シンキングツール，アプリケーション（Googleスプレッドシート，Google Jamboard，ロイロノート・スクール，その他），教科横断的な指導，異学年交流，等			
上 記 の 手 立 て を 参 考 に			
S	A1	A2	観点
遠隔学習において，「主体的・対話的で深い学び」の実現条件を意識し，授業改善を行うことができる。	児童生徒が遠隔学習において，自分の意見を伝えたり，相手の意見を聞いたりする場を増やすことができる。	児童生徒間のコミュニケーションの機会を増やすことができる。	主体的・対話的で深い学びの実現
☐ 「主体的・対話的で深い学び」の実現条件を意識し，遠隔学習で実施することができる。 ※実践全体（複数回の遠隔学習）で，「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現状況を各項目2個以上を達成することができる。	☐ Zoomやアプリケーションなどを活用して，他学年や他校の児童生徒，外部の方々と，意見や感想などを伝え合える場を設定する。 ☐ 学習成果の発表をしたり，相手の発表を聞いたりする機会を設ける。	☐ 全校朝（帰り）の会やZoom，共有アプリケーションなどを活用して，他学年や他校の児童生徒と話をしたり，簡単なゲームをしたりするなど，交流ができる場を設定する。 例）ドキュメント上で意見交流，スプレッドシートやZoomのチャットにおいて英語で会話，ロイロノート・スクールでなぞなぞ出題など	具体的な指導

S J 目指す児童生徒の資質・能力ルーブリック（A G 5）

※は発達段階に考慮して評価する

S	A1	A2	
I C Tを目的に応じて活用することができる。	I C Tで簡単な意思表示をすることができる。	I C Tの基本的な操作を行うことができる。	I C T活用力
（A1における右記の技能に加えて） ☐ We bを開いて調べることができる。※ ☐ 学習支援システムを使うことができる。※ ☐ Zoomやロイロノート・スクールなどのアプリケーションを活用し、言葉や資料、音声などを組み合わせて自分の考えを伝えることができる。 ☐ 目的に応じて、活用するI C Tを選択することができる。	（A2における右記の技能に加えて） ☐ 発達に応じてタイピングができる。※ ☐ タブレットやP Cにおいて自分の考えを簡単な文や録音で表現することができる。 ☐ Zoomやアプリケーションにおいて、相手の意見に反応や返事を行うことができる。 ☐ Zoomの画面共有において書き込みができる。	☐ 遠隔授業に一人で参加することができる。 ☐ タブレットを使って絵や単語を書くことができる。 ☐ タブレットに送られた資料を見たり、タッチで拡大・縮小したりすることができる。 ☐ タブレットを使って写真を撮ることができる。	具体的な技能

結論からさらに新たな課題や知識を創造し、解決にむけて推論したり、発表からさらにより良い表現方法に気付いたりすることができる。	これまでの知識や技能を活用し、新たな知識・技能を獲得し、考えたことを発信することができる。	自分の考えをもって、学習に取り組むことができる。	力 思 ・ 考 表 力 現 ・ 力 判 等 断
（A1における右記の姿に加えて） ☐ 課題や問いの結論について振り返ったり、新たな課題や問い、知識などを創造することができる。 ☐ 新たな課題や問いに対して、どのように問題解決をするか考えたり、実際に解決しようとしていたりすることができる。 ☐ 表現したことを振り返って新たな表現方法に気付いたり、聞き手の意見や反応を元にさらに考えを深めたり、表現を工夫したりすることができる。	（A2における右記の姿に加えて） ☐ 課題や問いの解決にむけて情報を整理・比較し、相違点や類似点に気が付くことができる。 ☐ 対話や知識・技能を活用することで、新たな知識・技能を獲得することができる。 ☐ 課題や問いに対する自分の結論を決定し、ノートにまとめたり発表することができる。 ☐ 考えや学んだことを、言語だけでなく、図や写真、スライドなど工夫して表現することができる。※発達段階に応じた表現技法	☐ 自分の考えをもち、ノートに書いたり発表したりするなど表現することができる。 ☐ 課題や問いに対して予想をもち、必要な情報を探したり選んだりすることができる。	具体的な姿